

もりおか

広報

2016

11月15日号(No.1445)

◆主な内容◆ (平成28年11月15日号)

障がい者芸術文化祭、都市景観賞、ごみ減量資源再利用市民のつどい、スポーツ講演会、健康ガイド

2～3ページ

消費生活情報えびろん、人事行政の運営状況を公表

4～5ページ

各種講座情報

6～7ページ

写真deもりおか「玉山地域産業まつり」

10ページ

古代米づくり体験講座の最終回となる脱穀体験・収穫祭(市教育委員会主催)が10月16日、志波城古代公園(上鹿妻五兵衛新田)で開かれました。5月から4回にわたり、田植えや稲刈りなどを通して昔ながらの米作りを体験してきた14組の親子が参加し、乾燥させた稲からもみを取る脱穀を体験。穂先を割り箸で挟んで滑らせてもみを落とす古代の手法や、千歯こき、足踏み脱穀機など昔ながらの道具を使った脱穀に汗を流しながら、米作りの歴史を学びました。最後に参加者でついた餅を食べ、収穫の喜びを堪能。大新小4年の瀬川健太郎君は「脱穀に使った道具の仕組みや進歩が興味深かった。冬休みの自由研究にまとめたい」と充実の笑みを広げました。平成14年に始まった同講座で毎年指導に当たる藤原一夫さん＝下太田林崎＝は「半年にわたる米作りの流れを知り、ご飯を食べるときは自然の恵みや農家の大変さをかみしめながら味わってほしい」と、参加者に農と食を大切にする心が根付くことを期待しました。

米一粒のありがたみ知る

(5月22日) 田植え



(9月22日) 稲刈り



(10月16日) 脱穀

